

(案)

いちのみや市100周年 推進計画

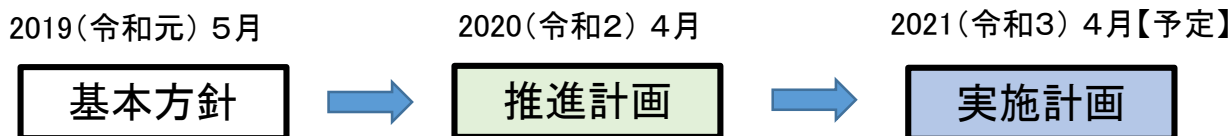
いちばんだいすき。一宮



2020年(令和2年) 4月

いちのみや市100周年実行委員会

1 計画の体系



- ・基本方針…基本理念及びテーマの策定、実施期間及び実施体制等の構築
- ・推進計画…プレ事業期間(令和2年度)の事業推進方針
- ・実施計画…記念事業期間(令和3年度)の事業実施方針

2 基本理念・テーマ・実施体制 <「いちのみや市100周年」記念事業 基本方針から>

1 基本理念

市制施行100周年の節目の年を、一宮市にゆかりのある多くの方々と喜び祝うとともに、まちの魅力を市民参加型で再発見・再確認し、地元への誇りや愛着を育む機会とします。

また、一宮市は2021年に中核市への移行を目指しています。「市制施行100周年」と「中核市への移行」が次の100年に向けた飛躍・発展の契機となるよう、多くの皆さんとの共創により、まちの魅力を高めます。そして、笑顔と活力あふれるまち「一宮」を次世代に引き継いでまいります。

2 テーマ

「人生100年時代」と言われる新しい時代に、市民もまちもいつまでも『健康・元気』であり続けられるよう、先人が築いてきた「歴史・伝統」や私たちの暮らしを豊かにする「芸術・文化」の大切さを十分に理解し、新しいまちの魅力を創造できるような、一宮市ならではの事業を進めます。

3 実施体制

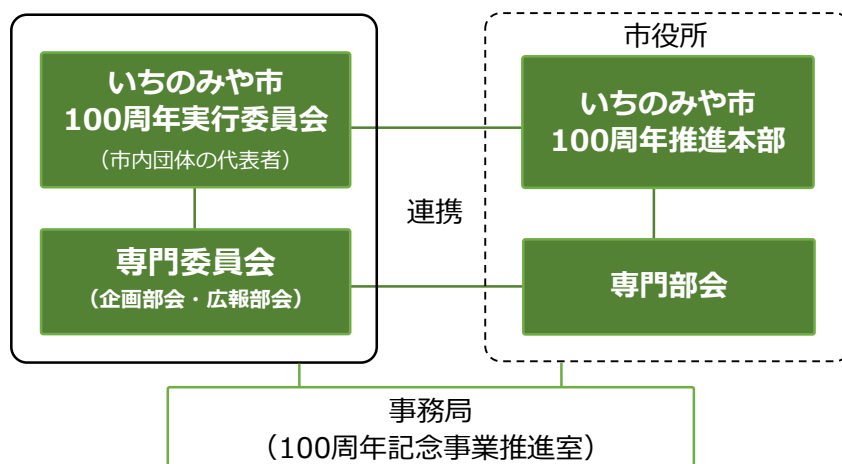
事業の実施については、2つの組織による「両輪体制」により効果的な展開を行います。

(1)いちのみや市100周年実行委員会

記念事業を多様な実施主体のもとで実施するため、市内各種団体の代表者で構成しています。

(2)いちのみや市100周年推進本部

市が実施する事業の企画や、実行委員会との総合調整を図るための庁内組織です。



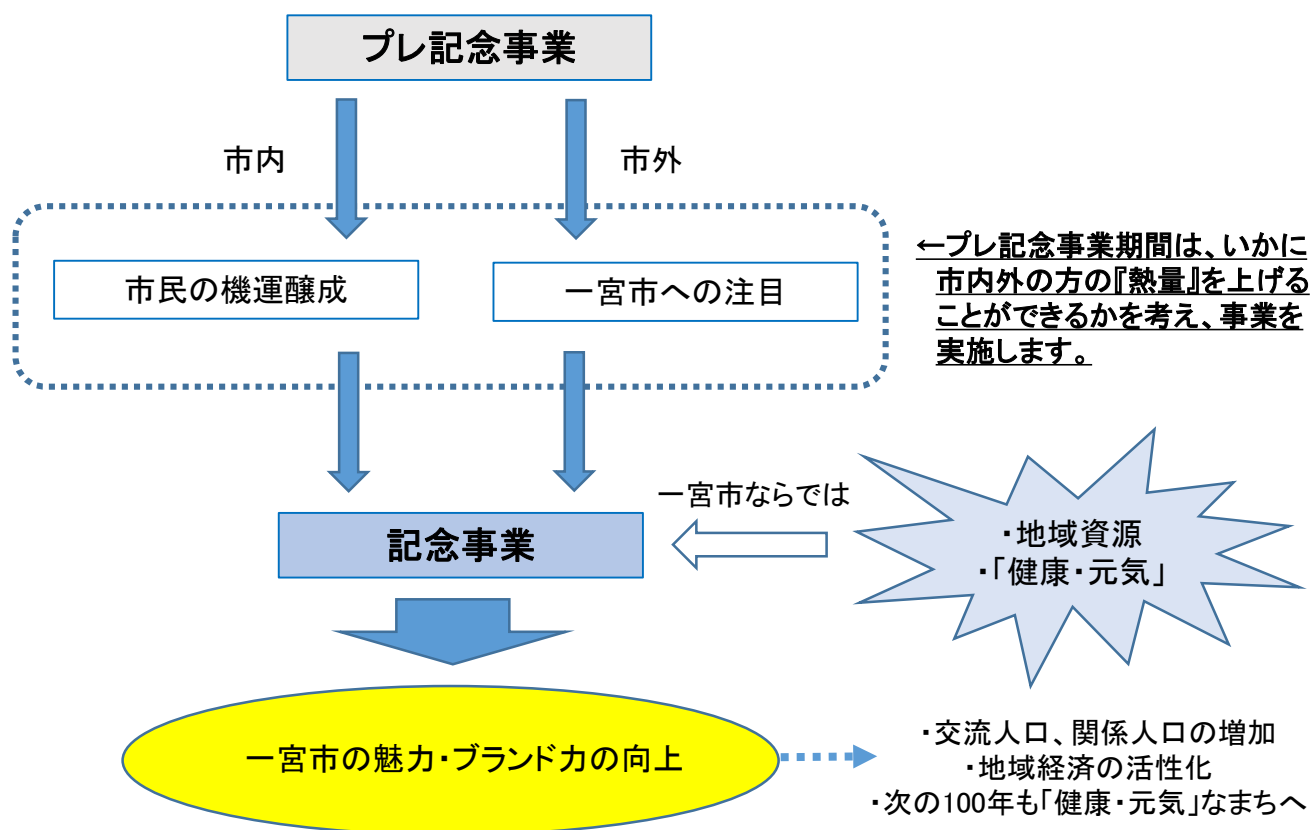
3 事業期間

1 記念事業の実施期間

- ・プレ記念事業期間:2020年(令和2年)4月1日から2021年(令和3年)3月31日まで
- ・記念事業期間:2021年(令和3年)4月1日から2022年(令和4年)3月31日まで

2 事業期間のコンセプト

<p>プレ記念事業期間</p>	<p>記念事業期間に実施する事業に対して、多くの方が参加や参画をしていただけるよう、また、市民が一体となって100周年を祝うことができるよう、市内外に「2021年に一宮市が100周年を迎えること」を広く伝える期間にします。</p> <p>プレ記念事業期間を通して、市内外の方の「熱量」を上げることを目的とした事業を展開します。</p>
<p>記念事業期間</p>	<p>「健康・元気」のテーマのもと、地域資源を活かした一宮市ならではの事業を実施します。</p> <p>記念事業を通して、一宮市の魅力及びブランド力を高め、次の100年に向けた礎を創ることを目指します。</p>



4 キャッチフレーズ・ロゴマーク

1 キャッチフレーズ

キャッチフレーズは、市民参加のワークショップ「キャッチフレーズを考えないと！」において、市民の皆さまから出された一宮市に対する想いをもとに制作しました。

<キャッチフレーズ>

いちばんだいすき。一宮

<ボディコピー>

一宮が、好きだ。
 ちょっと都会でちゃんと田舎なこの街が、好きだ。
 名古屋に近くて岐阜にも近いこの場所が、好きだ。
 坂道のないまっすぐ広がるこの土地が、好きだ。
 ドリンク代だけでおもてなしあふれるモーニングが、好きだ。
 日本中に誇れる七夕まつりも、ツインアーチ138も、真清田神社も、
 そのすべてが、私たちは好きなんだ。

「飛び抜けた1番」はないかもしれない。
 でも、それでいい。それでも「あなたにとって1番の場所」に。

一宮市は、100周年。
 これまで以上に市民のみなさまに愛される市をめざし、
 魅力を高めつづけていくことを、ここに誓います。

2 ロゴマーク

ロゴマークは、公募により全国からお寄せいただいた483作品の中から、専門委員会及び準備委員会委員による審査及び市民投票の結果を踏まえて決定しました。



<コンセプト>

「いちばんだいすき。一宮」になぞらえ「ハート」を使い、「キキョウ」「ツインアーチ138」「木曾川」を象徴的に取り入れ、市の魅力を端的に発信するロゴにしました。

(制作者:村河祐紀さん 神奈川県川崎市在住・デザイナー)

5 プレ事業期間の推進計画

1 イベントについて	「いちのみや市100周年」に向けた機運の醸成を図るため、市や実行委員会がイベントを実施します。また、市民の皆さまが主体となって実施するイベントに積極的に「いちのみや市100周年」の冠を付していただくなど、官民連携の取組みを行います。
2 広報・啓発について	様々な広報戦略や広報ツールによる情報発信により、「いちのみや市100周年」を市内外の多くの方に認知してもらい、興味や関心につなげる取組みを行います。
3 協賛・協力について	様々な企業の活動などを通じて「いちのみや市100周年」をご支援いただくことにより、企業・100周年双方のPRにつながるような取組みを行います。

1 イベントについて



- ・連携・・・市民団体や学校、企業の皆さんが実施するイベントに「いちのみや市100周年」の冠をつけていただき、官民連携により、一宮市を100周年色に染め上げます。
- ・参加・・・市や実行委員会、市民団体等が実施する100周年記念イベントに参加していただき、一宮市の魅力を体感・実感してください。

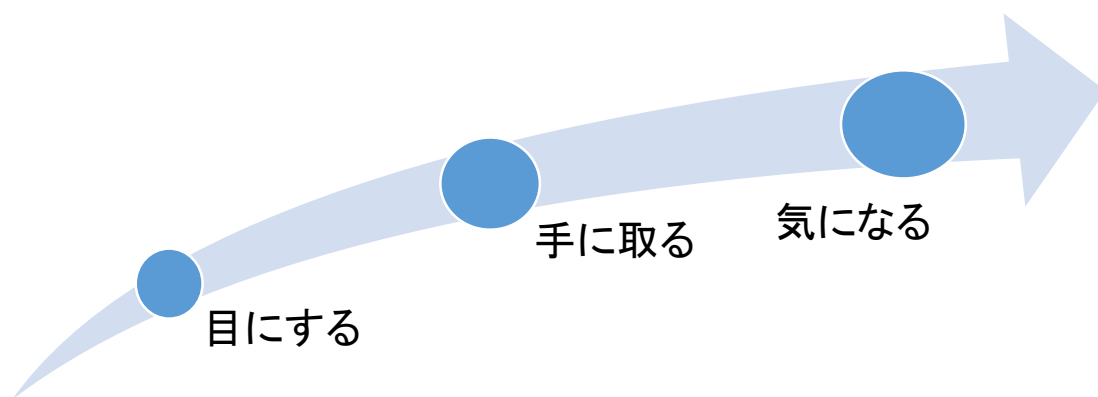
○冠事業について

<p>1. 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民団体や学校、企業等が実施するイベントについて「いちのみや市100周年」の冠称や、ロゴマーク・キャッチフレーズを使用することができます。 ・自社商品に「いちのみや市100周年」の冠称や、ロゴマーク・キャッチフレーズ入れて販売することができます。
<p>2. お申し込み</p> <p>事業実施の30日前までの申請が必要です。</p>
<p>3. その他の支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市ウェブサイト等による広報 ②のぼり旗の貸し出し

○市民チャレンジ事業について

100周年を機に市民の皆さまが企画・実施する「新しいチャレンジ」に対して、事業費の一部を補助します。2020(令和2)年度は、対象事業の募集及び選考を行います。

2 広報・啓発について



- ・「目にする」…施設や街頭でのポスター掲示をはじめ、のぼり旗の掲出やSNSなど、多様な周知・啓発ツールにより、市民の皆さんの目に触れる機会を広げます。
- ・「手に取る」…パンフレットやチラシ、記念グッズなど、実際に手にとって携帯できる情報ツールにより、情報の共有や拡散を図ります。
- ・「気になる」…「いちのみや市100周年」が『気になる』存在になるよう、ウェブサイトやSNS、市広報などで継続的に情報を発信し、関心を高めます。

○主な広報・啓発ツール等(予定)

年	2020(令和2)年										2021(令和3)年		
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
広 報 ・ 啓 発	ポスター・パンフレット①					ポスター・パンフレット②							
	記念グッズの配布及び販売												
	各種PR事業の展開 ・シンポジウムの実施 ・オリジナルフレーム切手の制作 ・映像などによる広報 ・市内のイベントとのコラボ など												
	市ウェブサイトによる情報発信												
	SNSによる情報発信												

3 協賛・協力について

- ・実行委員会が主催する事業にご協賛いただくことで、イベント会場やウェブサイト等で企業名を市民の皆さまにPRすることができます。
- ・企業等で作成している啓発物品等に、「企業名+いちのみや市100周年」を加えてご提供ください。イベント等での配布により、幅広い市民の皆さまへのPRが可能になります。
- ・その他、寄付やふるさと納税、クラウドファンディングなどの活用も考えています。